

2012年度五月祭 第1回打ち合わせ 2012/01/26

去年の反省

- ・人が少なく、少数の人に負担が大きかった。
 - ・去年の4年生は、全員はでていなかった。
 - ・今年も、全員は出られないだろう。
 - ・抜けるのはいいが、ちょっとでも空いた時間に来てくれると助かる
- 規模に合わせた展示。あまりいろいろなことに手を出さない方がいい。

・説明の入口（きっかけ）が分かれていたから、展示全体のまとまりが見つからなかった。

①始点と終点を決める。（入口1つ、広げる、出口1つ）

②イントロダクション（ex、水と岩に広げるなら、水と岩を合わせたイントロダクションのコーナーを作る。）

どちらかといえば、対策は②？

どこでやるか

・五月祭運営に決めてもらうか、学科で使える部屋（710 だけ？→人が来ない。）を利用。

地物は、336、化学科→、物理学科→4号館

・地物と張り合うには、1号館の1～3階をとるか、1号館を使わない方がいい。

結論：五月祭の運営側に部屋を決めてもらう。

今日の目的

①企画の種類（カフェとか）

②展示全体のやりたいテーマ・目的→大きなテーマを決める。

③今後のスケジュール

①企画の種類 カフェをやるのか、純粋な展示をやるか、全く違うものをやるか

・食べ物の配布→場所に制約がある？五月祭説明会で確認。

・人数や、部屋の配置、去年の様子から、今年は、カフェはやらない方向で。

結論：純粋な展示

②目的→やりたいこと→テーマ

目的：環境学科+地球惑星科学のPR。

自分たちの理解を深める。勉強。

自分たちが勉強したことで、一般の人が誤解してそんなことを説明する

備考：

- ・ 関心をもってもらおう→身近な地学で取っ掛かりをつくり、大きく広げていく。
- ・ 一つの軸を作って、ストーリーを組み立てていく。

やりたいこと：

- ・ 地形模型（東京（ex.本郷台地とか））
- ・ 鉱物展示
- ・ 韓国巡検（化石代表）
- ・ 海溝模型（増強+別の地域も作る）動くモデル
- ・ (放射線、放射能)
- ・ 地下水のモデル的な
- ・ 日常の地学（井戸→水系、地形）（壁に使われている石を見て何が分かるか、墓石）
- ・ 薄片作成の過程を展示

流れ：

・ 1 本軸になるものを決めて、ストーリーをきめる。(系統樹、ばらばらだったものが一つに集まる。)

- ・ 小さい所から地球にもっていく。

(去年のテーマは、動く地球。←勉強して地球に対する考え方の変化、時間スケールを考える。)

Ex.台地、扇状地などを見るー(少し離れて)→東京全体→関東全体→空から眺める

テーマ：やりたいこと→軸を決める（収束点）

Ex.

- ・ 関東の地形 →プレートテクトニクス、日本の地形の成り立ち

②結論：軸（大きなテーマが決まらないので、）保留、次回に持ち越し

③スケジュール

次回の相談は、1/31。相談時間も決める。

→次回の目的：軸決め

- ・ 軸とやりたいこと。
- ・ これだけはやりたいていうことから、軸を決める。
- (・ 実現可能性を考える。)